

ミズゴケのじゅうたんを 広げようプロジェクト (通称：MJP)

2026年
10月24日(土)

参加無料
事前申込不要

受付 9:30 ~

小雨決行 (荒天時は中止)

必要に応じて雨具持参をお願いします

開催場所：夕張川幌向湿原再生地
(栗幌橋から620m)



プログラム

午前の部 9:30 ~ 受付開始
開会式・挨拶

10:00 ~ 湿原の話、Eco-DRR の話
ミズゴケ移植・外来種駆除

12:00 ~ 昼食 (各自お弁当をご持参ください)
ヤチヤナギソーセージが食べれるかも…?

午後の部 13:00 ~ ミズゴケフロートづくり&ミズゴケ移植

15:00 解散

お車にて直接現地にお越しください。

- ※ 汚れても良い服装でお越しください。
長靴は特に必要ありませんが、歩きやすい靴でお越しください。
- ※ プログラム途中からの参加・退場が可能です。
- ※ 現地には駐車場があります。
- ※ トイレは三重緑地公園キャンプ場、南幌温泉等の
周辺施設をご利用ください。(再生地から車で約10分)

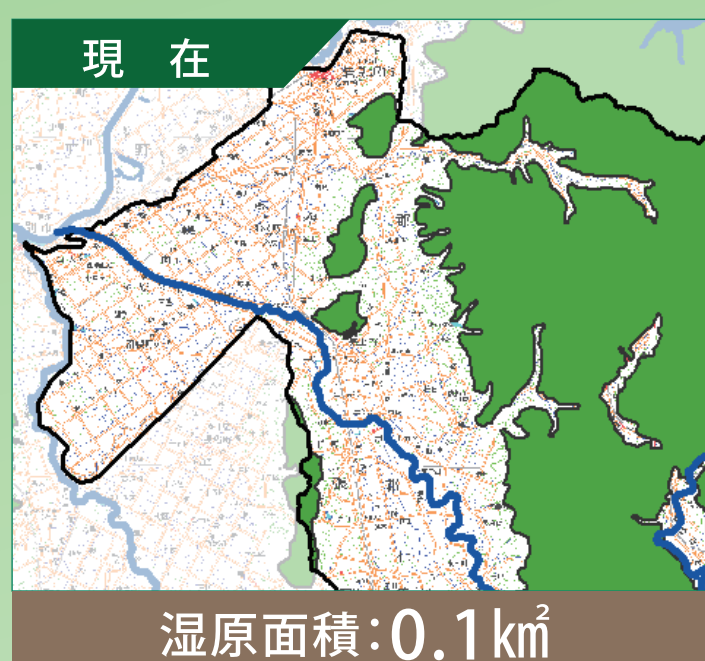
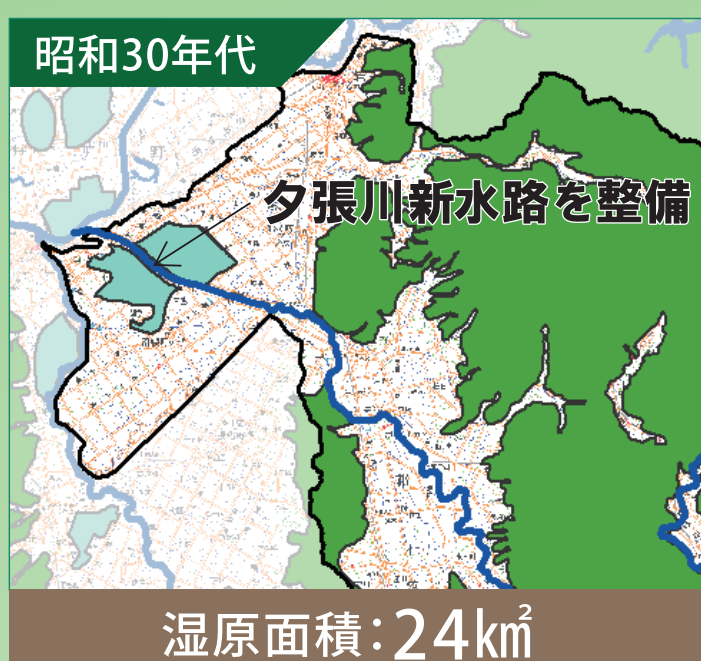
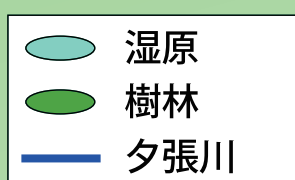


ほろむい、湿原再生 NANPORO HOKKAIDO

消えゆく湿原、幌向原野

- 幌向原野は都市化、農地化が進むなど、土地利用が急速に進展した一方、明治期には約104km²あった夕張川流域の湿原面積は約0.1km²まで減少しています。

※北海道殖民地選定報文附図、国土地理院古地図、国土地理院地形図及び国土庁土地分類図(土壤図)をもとに作成。

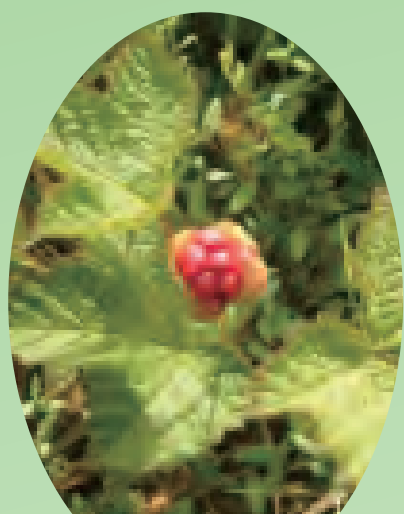


ほろむい七草の危機

- ほろむい七草は、現在はわずかに生育するのみとなり、生育がおびやかされています。



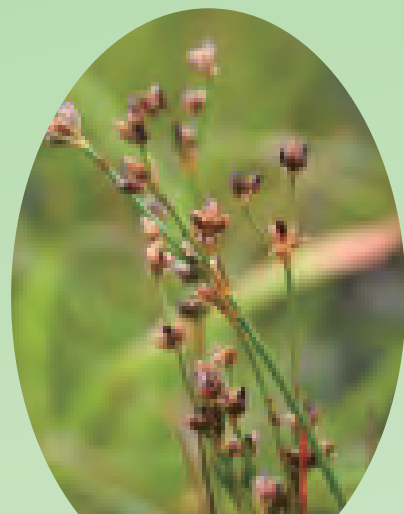
ホロムイリンドウ



ホロムイイチゴ
(ヤチイチゴ)



ホロムイクグ



ホロムイヨウガイ
(ホソコウガイ
ゼキシヨウ)



ホロムイスケ
(トマリスゲ)



ホロムイソウ



ホロムイツツジ
(ヤチツツジ)

〈主催〉一般社団法人 ほろむい七草の会
〈共催〉特定非営利活動法人 北海道 NPO サポートセンター
〈協力〉特定非営利活動法人 日本 NPO サポートセンター
〈協賛〉損害保険ジャパン株式会社

この活動は、SAVEJAPAN 2025-2026 の助成を受けて実施します。

〈お問い合わせ〉一般社団法人 ほろむい七草の会
sakamoto@horomui-nanakusa.org

地域と連携して、昔の湿原を取り戻すための 取り組みを行っています。

- 湿生植物が育つ環境をつくっています。



- 湿生植物を育成、導入しています。



- 地域参加で導入した植物が成長、開花しています。



- 高層湿原の基盤となるミズゴケを育成・導入しています。

